

# 事業計画 2020-2021

---

2020年3月31日

株式会社 キムラタン

# 2019年度 事業計画の総括

新ブランド導入、ブランドリニューアル等による売上拡大と粗利改善・経費削減による黒字転換を目指した。コスト低減・経費削減は進捗したが、厳しい市場環境に新型コロナウイルスの影響も加わり、売上拡大は未達。結果、単年度黒字化は達成できず、小幅な赤字縮小にとどまる見通しとなった

## 主な成果

- ・新ブランド「n.o.u.s」導入、「愛情設計」リニューアルによる顧客層の拡大
- ・生産拠点シフト効果により、粗利率は約2ポイント向上
- ・店舗運営見直しによる経費削減、その他固定費の削減
- ・中西(株)とのシナジーが2020年春物より本格化
- ・2020年2月よりウェアラブルIoTのサービス提供開始

## 課題

- ・売上拡大に頼らない利益体質への変革 = 損益分岐点の大幅な引き下げ
- ・高コスト要因、店舗不採算等の徹底排除
- ・粗利率のさらなる改善と経費率の低減
- ・売上目標と実績の乖離が生み出す在庫増の解消

# 2020年度 事業計画のコンセプト

先行きが極めて不透明な状況下、売上横ばいで利益が出せるよう徹底して体質強化を図るとともに、キャッシュ・フローの黒字化を目指す

## 1 利益体質に向け、損益分岐点の大幅引き下げと実現可能性の高い売上計画の実行

### ① 損益分岐点の大幅な引き下げ

不採算要素の排除、固定費削減、変動費比率低減、コスト低減と粗利率の改善

### ② 実現可能性の高い売上計画の実行

構造変化による売上拡大：サイズ展開、売場ロケーション変更、新規出店等

ECの強化：機能強化による顧客満足向上と顧客の掘り起こし・囲い込み

## 2 キャッシュ・フローの大幅改善・黒字化を目指す

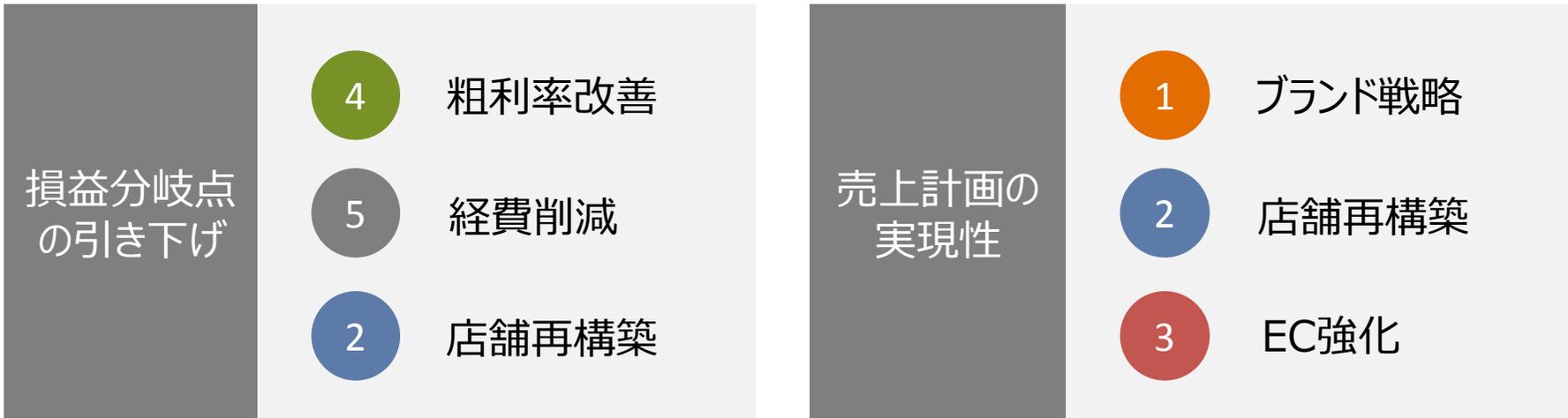
売上計画未達により在庫増となる状況を解消し、営業キャッシュ・フローの黒字化を目指す

## 3 2020年度：赤字大幅縮小 2021年度：延長線上に黒字化を見込める計画とする

新型コロナウイルスの影響もあり、先行き不透明な状況下、2020年度は大幅な赤字縮小を目標としつつ、徹底した体質強化と新規事業の確立を図り、2021年度黒字化を目指す

# 2020年度 事業計画の概略

## アパレル事業の利益体質への変革と将来成長に向けた新規事業の確立



先行き不透明な状況下、2020年度は大幅な赤字縮小を目標としつつ、徹底した体質強化と新規事業確立を図り、2021年度黒字化を目指す



# アパレル事業の主要施策 概略

---

## 1 ブランド戦略

10ブランドから7ブランドへと統廃合。最適化・効率化・コスト低減を図る  
既存ベビー・トドラーブランドの刷新、乳児ブランドのリニューアルを実施

## 2 店舗再構築

店舗のスクラップ&ビルドを加速させ、不採算要素を排除、店舗の効率化を図る  
Baby Plazaにおいては取扱いサイズ拡充による顧客数拡大を図る  
Bobsonにおいては女兒向けブランド投入による顧客層の拡大を図る

## 3 EC強化

リアル店舗とECの会員一元化を図り、顧客との接点を増やす  
ECサイトの機能強化により顧客の買いまわり易さ、利便性の向上  
SNS活用、コンテンツ充実、アプリ等デジタル・マーケティング強化による顧客の掘り起こしと、囲い込み

# アパレル事業の主要施策 概略

---

## 4 粗利率改善

ブランド統廃合・型数絞込みによる、高コスト要因の排除とロット増による原価低減  
現在進行中の生産拠点シフトをさらに加速  
定番商品の拡充、追加生産体制による割引率の抑制

## 5 経費削減

店舗経費の削減、変動費比率の低減  
ブランド統廃合による削減、展示会費用の削減、本社人員配置の見直し等、さらなる固定費削減

**以上の取り組みにより赤字を大幅に圧縮・キャッシュフローの改善を図る**

# 新規事業の主要施策 概略

---

## 1 保育園事業

自社設置のキムラタン保育園に加え、阪神間に4園の運営受託を開始  
規模拡大による効率化を背景に、より質の高い保育サービスを提供する

## 2 ウェアラブルIoT事業

2020年2月よりサービスの提供を開始し、導入園を順次拡大  
代理店の拡充、人員増による拡販体制の構築

## 3 オフ・プライス・ショップ

既存店数店舗をオフ・プライス・ショップに転換し、活性化を図るとともに、  
新店舗業態としての可能性を模索する

**2020年度に事業として確立し、将来成長の基盤とする**

## 2020年度の数値目標について

---

前掲のとおり、2020年度は大幅な赤字縮小を目指してまいりますが、具体的な数値目標につきましては、新型コロナウイルスの影響を現段階において合理的に算定することが困難なことから未定としております。具体的な数値・業績予想が可能となった段階で開示いたします。

